

# 大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 名古屋大学減災連携研究センター 教授御名前 西川 智 様

## 1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

(是非すべきこと)

- 世界一安全で安心な長寿大国日本の高品質な生活スタイルを世界各国に周知すること。
- 1940年代から現在までの日本の大衆の生活がいかに質的に向上し、そのことが長寿化に結びついたかを世界各国に周知すること。それには、食生活の改善、住生活の改善、国民皆保険制度の確立、医療制度の改善、防災への取組み、交通安全の取組み、都市の改造、等々を含む。これらは、世界の多くの途上国や中進国が手本とすべき見本であることを周知すること。
- それらが、単発の技術で解決したものではなく、様々な社会問題を解決するための諸制度や日本の文化と組み合わせられることにより実現したことを周知すること。
- 現在の日本が少子高齢化や人口減少に向かっているからといって、そのことは、現在、人口増、特に大都市での急速な人口増に直面している多くの国々にとっては、関心事ではないことをよく認識し、対外的に発信すべきことと、日本国内向けに言い訳することとを、しっかりと峻別して、海外からの来客者にみせること。
- 関西万博は、誰を主観客とするか、ターゲットを明確にすること。内向き志向はやめるべき。
- 前回の大阪万博は、年齢構成が若い日本国民向けに、夢をみせることが主目的だったと思うが、今回の大阪万博は、日本のソフトパワーやそれに裏付けられたサービスや製品を世界の若い市民にみせて、この高品質な生活スタイルへの憧憬を喚起することに焦点を当てるべきと考える。
- 日本の乳幼児向けの高品質の製品や子供用品や教材をハイライトすること。  
(日本の乳幼児死亡率は、他の先進国と比較しても低いことをよく提示し、それがなぜ実現できたかをみせること、母子手帳、保健所での指導など)
- これらを通じて、1940年代から今日にかけて、劇的な生活の質の向上を実現した日本の仕組みやライフスタイルについて、現在、急速な大都市人口の増加などに直面し、様々な社会問題に悩む世界各国からの来客者に提示し、日本への憧れを演出すること。
- 古今東西、様々な欲求を満たした後に、人々が贅を尽くしてでも求めるものは何か？を踏まえて、万博の演出を企画してみてもどうか。青壮年層を対象とした健康長寿への道筋を示し、関心を惹起すること。
- 日本が恒常的に貿易赤字である相手国、フランス、イタリア、スイスから日本人は何を買っているかを踏まえて、では、これから経済成長する国々に対して、日本が比較優位をもって長く「売る」ことが出来るものは何かを意識した企画にしてはどうか。
- 以上をSDGsに合わせて整理して見せれば良いと思う。

## 2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs 達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

- 長寿健康社会を支える様々な生活(食品、医療、健康、教育)にかかるソフトと製品群。
- 大都市への急速な人口増に伴う様々な社会問題を解決した日本の都市・建築・住宅にかかる技術。「ウサギ小屋」から脱却し、外国人が競って購入するようになった日本の集合住宅の技術。
- 高密度な都市で人の流れをスマートに制御する技術。渋谷のスクランブル交差点だけが日本のミラクルではない。大都市の通勤電車、最短3分間隔で発車する東海道新幹線、高層ビルのエレベーター、わかりやすいピクトグラムなど、日本は高密度社会だからこそ発展させた「高密度人流」を混乱無く誘導するソフトと技術が豊富であり、それを万博会場で実地に見せるべき。
- 日本の鉄道駅が、日々の電車運行を止めずに改良し変貌を遂げてきている様を見せるべき。
- 多くの途上国では、これから10-30年間の間に、大都市改造を迫られる、そこでは、まっさらの土地にニュータウンを作るのではなく、生きながらの都市を機能更新することが切実に求められている。

## 3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。

(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)

- 高性能センシング技術を用いた来場者個人の属性把握とそれを元にした誘導情報の適応によるマスの人流制御システムの実用化により、人の混雑や滞留を防止し、スムーズな誘導システムを実用化し、来客が我慢できない混雑を防止すること。スマート人流制御システムの実用化が出来ると良い。
- 屋外空間の微小気候制御技術、緑陰やドライミストや日陰を組み合わせ、低エネルギー負荷で大型空間や屋外空間の、暑さ・寒さ・湿度の制御が出来たら面白い。
- 指向性ホーンアレイスピーカーを用いた、屋外空間の音の制御や情報伝達の実用化。
- 上記を組み合わせ、大規模空間や屋外空間を、物理的に壁で仕切ることなく、人流、気候、音、香りなど生身の人間が5感で感じるアンビエンスや空間の雰囲気や空間を制御してみせること。

## 4. そのほか、御自由に御意見をお願いします。

- 万博の会場は、防災上非常に条件の悪い土地であるので、万博施設跡地は、絶対に住宅にはいけない。
- 万博開催期間中に、大型台風や南海トラフ地震が発生した場合の人命救助計画を立案しておくこと。
- 日本の大都市がどのように「活動しながら変身」してきたかを見せると面白いのではないか。